

# 新春のご挨拶

参議院議員 山谷 えり子



謹皇紀二千六百八十六年、令和八年が幕開けとなりました。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。偕行社の諸先輩方ならびにご家族の皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのことと存じます。

新年を迎えるにあたり、御皇室の弥栄と五穀豊穡、天下泰平、国土安穩、万民豊樂を祈念いたします。

丙午（ひのえ・うま）の本年は、太陽のような強い光熱の激しさを力に変え、逆境を乗り越えていく力を授けてくれる年といわれています。

午年の今年は、一気に駆け抜けるように何事にもスピード感をもって邁進していく一年でありたいと願います。

昨年、日本青年遺骨収集団（JYM A）の顧問に就任いたしました。「慰霊」と「伝承」の二大使命のもと、最後の戦後処理」ともいわれる旧戦地における遺骨収集活動を行っています。

戦後八十年を過ぎた今なお、南海の

島や海外で眠る戦没者のご遺骨を一日も早く祖国へお帰りにただけるよう力を尽くしてまいります。

また、高市早苗会長の総理就任に伴い、鳥獣捕獲緊急対策議員連盟の会長をつとめることとなりました。近年のクマによる人的被害は災害級ともいわれ、自衛隊の本来の任務とは異なるものの、国民の生命を守る観点から部隊が派遣され対処いただいていることに心より感謝申し上げます。

昨秋に高市総理大臣が誕生し、内閣発足後2か月が過ぎました。総理就任5日目である10月25日からの外交ウィークを走り抜けました。東南アジア諸国連合（ASEAN）首脳会談から始まり、米国のトランプ大統領の訪日、そして韓国でのアジア太平洋経済協力（APEC）首脳会合と精力的に「世界の真ん中で咲き誇る日本外交を取り戻す」という決意の下、力強い外交・安全保障政策を推進していくというリーダーシップを示してくれました。世界が複雑化している中であつても、「日本と日本人の力を信じてやまない」とたびたび発言する高市総理のもと、来る年を国民の皆様が希望を感じる年としていきたいと切に願っています。

結びに国家の安寧と皆様のご多幸を心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。